

## 15 下水道施設

### (1) 下水道施設

#### ① 対象施設一覧

No.	施設名	地区	運営形態	建築年度	経過年数	耐用年数	延床面積 (㎡)	収入 (千円)	支出 (千円)
1	高崎浄化センター	三井楽	直営	H13	18	50	39	648	1,571
合計							39	648	1,571

※1 運営形態の「指定」は指定管理者を、「直営」は市直営管理を表します。

※2 耐用年数については、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和43年3月31日大蔵省令第15号）を参考に記載したもので、使用可能期間を示すものではありません。

※3 収入及び収支は、平成28年度の歳入歳出決算額を記載しています。

#### ② 各種分析結果

##### ア 築年数別状況

高崎浄化センターは、平成13年建築された施設で、現在18年が経過しています。施設は、鉄筋コンクリート造りであるため耐用年数は50年となっていますが、海岸沿いにある施設であるため、耐用年数より早く使用できなくなる可能性もあるため、長寿命化を図る観点からも予防保全型の管理を徹底していきたいと考えています。

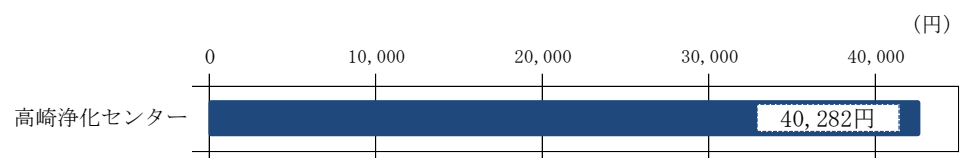
##### イ 利用状況

下水道施設の延べ利用者数を示したものです。なお、利用期間は平成28年4月から平成29年3月までの1年間です。

No.	施設名	利用者数 (人)
1	高崎浄化センター	14,600

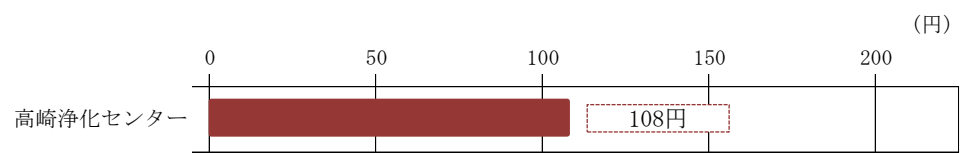
##### ウ 1㎡当たりの運営コスト状況

管理運営経費と総延床面積から1㎡当たりのコストを比較したものです。



##### エ 利用者1人当たりの運営コスト状況

管理運営経費と利用者数から1人当たりのコストを比較したものです。



オ 施設の配置状況

対象施設の配置状況を示しています。



No.	施設名
①	高崎浄化センター

### ③ 施設について

#### ア 施設の役割

高崎漁業集落の生活環境の改善と公衆衛生の向上を図るために整備された施設で、生活排水又は事業に起因する汚水を処理しています。

#### イ 現状と課題

施設の現状は、高崎地区の住民のほとんどが使用している状態であるため、施設を設置した目的は十分に達成できているものと思います。

しかしながら、高崎地区も例外なく人口減少が進んでいるため、利用者は年々減少してきており、将来的に現状の規模の施設が必要なのか慎重に検討を行う必要があります。

#### ウ 今後の施設の考え方

高崎漁業集落の生活環境の改善と公衆衛生の向上を図るためには今後も必要な施設であると考えていますが、利用者数の状況も見ながら費用対効果も勘案したうえで、他の方法による目的の達成も検討する必要があります。

### ④ 適正配置の検討結果

現状や課題、今後の施設の考え方を踏まえ、すべての施設の適正配置の時期を第1期から第4期までに区分します。

また、第1期の対象施設については「現状維持」「適正化」「複合化」「集約化」「民活化」「廃止」「譲渡」といった方向性を検討し、より具体的な適正配置の実施時期、方法を検討します。

第1期 (H30～R8)	第2期 (R9～R18)	第3期 (R19～R28)	第4期 (R29～R38)
			高崎浄化センター

※第1期の計画期間は、五島市公共施設等総合管理計画の期間と合わせるため、9年間としています。

※第2期以降に施設名がある施設は、第2期以降の個別計画の策定までにその方向性を検討します。